



# J A R L

## 青森県支部報

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟  
青森県支部

発行人：平川 正敏 JR7GBL  
編集人：成田 賢治 JA7GUX  
編集人：安齋三津夫 JA7CUA



### ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟  
青森県支部

支部長 (JR7GBL)  
平川 正敏



### ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟  
東北地方本部

本部長 (JA7AJH)  
尾形 和俊

JARL 青森県支部報の発行にあたりご挨拶申し上げます。

JARL 青森県支部会員におかれましては益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。日頃は本県支部活動にご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。この場を借りまして会員各位、支部登録クラブ、支部役員の皆様にお礼申し上げます。

この度、JARL 社員選挙を受けて JARL 会長高尾義則氏 (JG1KTC)、副会長に種村一郎氏 (JG2GFX)、原恒夫氏 (JA8ATG) が選出され、新体制がスタートしました。また、JARL 東北地方本部長に尾形和俊氏 (JA7AJH) が就任しました。新体制が会員増強、多様なアマチュア無線を追求する中で、JARL 青森県支部も同様に「アマチュア無線啓発運動」を推進して参りたいと考えます。

これまで支部長を務めた2年間は組織の再構築、技術講習会開催などを目標に掲げ行動しました。その中では登録クラブの消滅や復活もありました。JARL 青森県支部の現状は、各県支部同様に長期に渡る会員数減が続いています。2年間の経緯と結果を踏まえ、今後とも支部事業計画の継承、発展、見直しに取り組みたいと考えています。

技術講習会は支部会員と無線に興味がある方との交流、参加者の技術レベル向上を目的に進めてきました。最近PC関連ソフトの進化が著しく、Web やスマホを利用した交信など、ハムを取り巻く環境はさらにスピードアップしています。今後は「何でも相談室」も実施。支部HPを活用して質問の事前受付、当日の配布資料の充実を図り、「アマチュア無線の多様な楽しみ方」の追及に積極的、具体的に対応したいと考えています。皆様のご理解とご協力を宜しくお願いします。

「第44回 JARL 青森県支部大会&ハムの集い」は9月18、支部役員、各登録クラブのご協力で青森市の八甲田丸で開催されます。ジャンク市、コンテスト表彰、支部事業説明などを予定しています。また、オール青森 DX Association (AADXA) 40周年記念事業として、CQ 出版社・JK10PL 小野彰彦氏を講師に招き記念講演会を開催します。恒例のお楽しみ抽選会も企画しました。大会終了後、講師を囲むパーティーが開催されますので支部会員、ハム仲間各位の参加をお待ちしております。

残暑の候 会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は JARL 東北地方本部ならびに青森県支部の事業運営にご協力ご支援を賜りまして誠に有難うございます。

今年役員改選の年であり、6月26日の JARL 社員総会において、東北地方本部長 (理事) として承認されて初めて重責を担うことになりました。また、その際は皆様から多大なるご支援を頂戴しました。誠に有難うございました。

22年間の永きにわたり東北地方本部長を務められ、先般 JARL 会長を勇退されました JA7AIW・山之内俊彦様の業績は偉大であり、大変お疲れ様でしたと申し上げたいと思います。

新人の私が一番先にやるべき事は、山之内様が残された課題の中で一番重要な「会員増強」の問題です。ピーク時は約19万人いた JARL 会員数が現在は約6.7万人まで減少しております。大きな原因の一つは会員の高齢化問題で、この現象を止める事は出来ません。

しかし、青少年や壮年層のアマチュア無線離れ、JARL 会員が増加しない理由に、JARL に魅力が欠ける事を指摘する意見がありますが、一概にこれだけでは無いと私は思います。

アマチュア無線本来の楽しみ方を良く知らないためではないかと考えられます。私が開局した昭和35年頃のアマチュア無線の運用モードはそれほど多くはありませんでしたが、現在は非常に多種多様な交信を楽しむことが出来ます。

小型ハンディ機、ノートパソコン、スマートフォンから。シヤックはもちろん、旅行先のホテル、列車内など、日本国内各地はもとより海外からでも QSO が出来ることを知らないためではないかと思えます。せっかく免許を取得したアマチュア無線の趣味なのに、せっかく購入した無線機の機能を半分しか使用していない。本当にもったいないと思えます。

アマチュア無線ライフは、見知らぬ各地のハム仲間と知り合うチャンスが多くあり、様々な趣味や話題を通じて友達がたくさん増えることを、若い人たちにもっと PR する必要があります。アマチュア無線界の活性化に、東北地方のアマチュア無線発展のために頑張ってお参ります。皆様方のご協力を宜しくお願いいたします。

### 第44回 JARL 青森県支部大会&ハムの集い

#### 【青森県支部大会】

- 日 時：平成28年9月18日(日)午前10時開場
- 場 所：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 (JR 青森駅近く)
- 次 第：午前10時 ・開場 (ジャンク、機器販売、展示など)
- 午後1時 ・開会あいさつ JARL 青森県支部長 JR7GBL 平川正敏
- ・ご祝辞 JARL 会長 JG1KTC 高尾義則様
- JARL 東北地方本部長 JA7AJH 尾形和俊様
- JARL 渡島檜山支部長 JE8HLA 伊藤秀夫様
- ・津軽海峡コンテスト表彰、オール青森コンテスト表彰
- 午後2時 ・前年度事業報告、同収支決算報告、新年度事業計画説明、同収支予算説明
- 午後3時 ・AADXA40周年記念講演会「サイクル24からサイクル25に向けて」(講師：JK10PL 小野彰彦氏)
- 午後4時 ・お楽しみ抽選会、記念撮影

#### 【ハムの集い】

- 日 時：平成28年9月18日(日)午後5時から (講師の小野氏を囲むでの交流会)
- 場 所：魚っ喰いの田 ワラッセ店 (会費1人4,000円) ※事前申込みをお願いします。詳細は支部HPをご覧ください。



### JARL 青森県支部登録クラブの近況

#### 南部アマチュア無線クラブ

クラブ会長を拝命して2年目に突入しました。ちょっと遅めでしたが、6月25日に総会を開き、前年度の決算報告や今後の活動計画を話し合いました。

他ローカルクラブとの交流、地域の防災訓練への参加、クラブ員減少阻止のための懇親会を兼ねた移動運用など、いろいろな案は出たのですが、会員の都合など考えますと、絶対的な人数が集まりません。

しかし、少人数でも決行したいと考えております。三戸、南部地方のアマチュア局は150人近くおります。防災協力隊として、皆さんと交流を深めていきたいと考えております。 会長 JN7SYU・佐々木豊満

#### 弘前アマチュア無線クラブ

アマチュア無線の魅力とは何か、青少年が無線をやりたくなる事は何なのかを考えていかなければ、ハム人口が増えません。今は携帯電話やスマートフォンなどがあり、通信手段には不自由しないが、それ以外の楽しみ方を知ってもらいたいのです。D-STAR、WIRES、RTTYなどは若い方も楽しめるのではないかと思います。

また、無線の楽しみ方の一つであるアワード、特に海外交信アワードDXCCは、世界中のエンテチーと交信して数を増やしてゆく楽しみがあります。DX交信は昔から変わらない楽しみ方です。いずれにしても、電波をより遠くに飛ばす楽しみを知ってほしいです。 会長 JA7AXP・川村敏男

#### JARL 青森クラブ

4月16日、24人が参加して総会・懇親会を開催。20日から23日まではJARL創立90周年特別局8J790Y/7の運用を行い、569

局と交信しました。29日は芋煮会と称した「観桜会」を三内霊園内の広場で開催の予定でしたが、あいにくの雨天で事務局局長宅に変更、11人が参加。事務局長XYLの美味しい手料理と昼からの「アル変」で大いに盛り上がりました。

5月29日には、「電波の日」記念公開運用を実施。参加15局。改修された青函連絡船メモリアムシップ八甲田丸での運用です。7月17～18日には八甲田丸において「海の日」記念公開運用の予定。初日の夜には恒例の「納涼ビアパーティ」を行います。昨年はパーティ会場から「安瀧みなと祭り」の豪華な打上花火を見物。花火と美味しいビールを堪能しました。

9月18日には青函連絡船メモリアムシップ八甲田丸で開催される県支部大会への参加協力。24日～25日は旧平舘村の「おだいば」で恒例の移動運用の予定です。12月第1土曜日は「年忘れミーティング(忘年会)」の開催です。

こうした行事のほか、毎週水曜日午後8時からのロールコール、機関誌「じょんがら」の毎月発行、ねぶたアワードの発行を行っています。なお、「じょんがら」は6月号で429号、ロールコールについては6月29日で1,707回を数えました。 会長 JA7BUZ・山本俊行

#### アマチュア無線十和田クラブ

JARL青森県支部に登録されている会員の皆さん、アクテブにハムライフを楽しんでおられると思います。

JA7YAZ(アマチュア無線十和田クラブ)も昨年から今年にかけて、構成員の減少が進み、本年度は30人で事業計画を立てました。休んでいました「キャンプ・ミーティング」を復活させようと計画しま

した。出来ることなら三沢さん、五戸さんなど南部地方各クラブ局に声をかけて、「ネーチャー・ミーティング」などで電波を出したいと考えています。

若い無線家を増やすことは容易ではありません。自分の免許取得当時を振り返れば、アルファベットで話す言葉、買った無線機の意味不明の文字、説明書を読んでも理解できない内容など、様々な「???」があまりにも多過ぎました。無線機1台から始めた頃を思い出せば、我々先輩ハムは何も分からない初心者を指導する義務があるくらいに考えたいものです。経験を積むとスキルやレベルアップを考えますが、初心者は着いて来ません。楽しさだけでも着いて来ません。もう一度、講習や講義の内容を見直しては如何かと考えます。

今年もさまざまなコンテストに参加して、アマチュア無線の活性化につながるよう、クラブ員各局で末永く続けたいと考えています。 会長 JM7GEB・小林閑則

#### 津軽スカイクラブ

ほとんどロートル的なクラブになってしまいましたが、まだまだ元気です。定期ロールコールは、県支部大会開催までに1,660回を数える予定です。

当クラブ4大行事の一つであるフィールドデーコンテスト参加も無事に終了。年々参加者が少なくなるのは寂しい限りですが、「そのうちに大々的に」と考えてはいますが、果たして…。

今年も新年会、総会は無事に開催しました。4月に特別記念局8J790Y/青森県を、当クラブが先陣を切って運用できた事は大変光栄に思います。まだまだ行動力があるようで、クラブ創立50周年に向けて邁進中です。 会長 JA7GUX・成田賢治

平成27年度 青森県支部事業 報告

平成28年度 青森県支部事業 計画

行	事	年月日	記	事
JARL 特別局	8J730ZYM運用	4月1日~8月31日	CQ 津軽ハムクラブ開局30周年記念局	
第13回	津軽海峡コンテスト	5月9日~10日	参加56局 支部優勝100点	
第2回	技術講習会	5月30日	「JT65」研修	
電波の日	記念運用	5月31日	青森クラブ	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	6月7日	日赤会議室	
第9回	オール青森コンテスト	7月11日~12日	県内37局 県外99局	
青森県	防災の日参加	8月27日	黒石市(日赤弘前分団)	
渡島檜山	支部大会参加(青函交流)	9月12日~9月13日	北斗市 5名参加	
第3回	技術講習会	9月19日	FCC 試験対策講座	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	10月3日	八戸市(プラザホテル)	
第43回	青森県支部大会とハムの集い	10月4日	八戸市(プラザホテル)	
交通安全	と電波を正しく使うキャンペーン	10月1日~31日	新バンド'プラ広報等	
第4回	技術講習会	11月7日	RTTY 入門講座	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	12月6日	日赤会議室	
第5回	技術講習会	28年3月13日	WIRES 入門講座	
その他	推進事項		会員勧誘運動、登録クラブ行事の後援 県内市町村アワードの発行 渡島檜山支部との青函交流(技術研修を兼ねた交流会)	

行	事	年月日	記	事
JARL 記念局	8J790Y運用	4月1日~4月30日	各登録クラブ運用	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	4月10日	電技パーツ本社	
第14回	津軽海峡コンテスト	5月14日~15日		
第6回	技術講習会	5月22日	電技パーツ本社	
電波の日	記念運用	6月1日	各登録クラブ運用	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	6月5日	日赤会議室	
第10回	オール青森コンテスト	7月16日~17日		
第7回	技術講習会	8月28日	電技パーツ本社	
青森県	防災の日参加	8月25日	むつ市	
渡島檜山	支部大会参加(青函交流)	9月3日~4日	木古内町	
第44回	青森県支部大会とハムの集い	9月18日	青森市 八甲田丸	
交通安全	と電波を正しく使うキャンペーン	10月1日~31日		
第8回	技術講習会	11月13日	電技パーツ本社	
登録ク、	監査指導、支部役員合同会議	12月4日	日赤会議室	
第9回	技術講習会	29年3月9日	電技パーツ本社	
その他	推進事項		会員勧誘運動、登録クラブ行事の後援 県内市町村アワードの発行 渡島檜山支部との青函交流(技術研修を兼ねた交流会)	

ハルアマチュア無線クラブ

活動の停滞により休眠状態となっていた当クラブが再始動してもうすぐ1年になります。振り返れば、活動再開を臨時総会で決め、失効していた社団局 JA7YF0 の旧コールサインでの開局、JARL への入会、地域クラブの登録と、従前の体制に戻すまでに、あわただしく過ぎた1年でした。

これまでの活動として、社団局を運用して QSO パーティーとオール青森コンテストに参加したほか、八戸漁業用海岸局の見学、会報の発行などが挙げられます。海岸局は漁船との無線通信を行う業務局で、水産都市・八戸の象徴的な無線局であることから見学会を企画しました。仕事の都合でやむくなく参加できなかった会員からは、来年も企画するようリクエストが届いています。その他、これからも随時、親ぼく会や勉強会などを行う予定です。

当クラブは再始動したとはいうものの、卵からかえったばかりのヒヨコのようなもので、まだ歩きはじめたばかり。活動の具体化や会員への連絡にしてもノウハウに乏しく、ドタバタしています。それでも、無理せず、できる範囲で、地域クラブとして会員がアマチュア無線の楽しみを広げられるように、活動を続けていきたいと考えています。 会長 JL7GNT・大向富美郎

オール青森 DX Ass'n

オール青森 DX アソシエーション (AADXA) は HF・DX 通信およびアマチュア無線技術に関する各種調査、研究を行い、かつ会員相互の友好の増進を目的として発足しました。今年で 40 周年を迎えた「AADXA40 周年事業」は記念講演会、海外遠征、記念誌発行の 3 本柱で進めています。

クラブ発足から毎月発行している機関誌

「AADXA BULLETIN」は、2016 年 7 月で 478 号を発行しています。機関誌は発行当時はガリ版印刷でした。その後ワープロ、パソコン編集になり、現在は郵送からネット配信方式です。また春秋の年 2 回、東西の 2 地区が持ち回りで「AADXA Meeting」を開催、親ぼくを深めています。

9 月 18 日の JARL 県支部大会では、CQ 出版社の JK10PL・小野彰彦氏を講師に招き「AADXA 創立 40 周年記念講演会」を開催します。支部大会終了後、講師を囲むパーティーを開催します。県内 HF ファン、DX ファン、無線に興味のある方多数の参加をお待ちしています。

会長 JR7GBL・平川正敏

CQ 津軽ハムクラブ

皆さんこんにちは、JH7ZYM CQ 津軽ハムクラブです。昨年は当クラブ創立 30 周年の記念局、8J730ZYM の運用にあたり多くの方々からご支援、ご援助を頂き誠に有難うございました。おかげ様で、記念局は当初交信目標の 2,000 局を大きく上回る、4,800 局と交信し、無事 5 ヶ月間の運用を終える事が出来ました。この場をお借りして、お力添え頂いた皆様にご報告とお礼を申し上げます。

さて、当クラブは今年も記念局の運用から活動を開始、8J790Y の運用を 4 月 24 日から 30 日まで担当しました。期間中、津軽地方全郡 10 市町村に移動運用を行い 2,048 局と交信して、その任務を果たす事が出来ました。運用の期間中、応援に駆けつけて下さった皆様に厚くお礼申し上げます。

8J790Y の運用後は、津軽海峡コンテストに参加。このコンテストは第 1 回から昨年まで連続優勝をしていますので、今年も結果発表を楽しみにしています。今後も会員の要求実現の活動を進めたいと思いますので、皆様

のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

会長 JF7PFW・加藤全健

BeFM アマチュア無線クラブ

昨年 11 月 30 日、WIRES-X ノード局を八日町 BeFM 内に開設しました。周波数 145.70MHz (全電波形式)、トーン 77HZFM で 24 時間運用しています。詳しくは JE7YQJ のホームページをご覧ください。

本年 3 月 13 日、WIRES-X をテーマに技術講習会を開催。終了後、みろく横丁で新年会を行い親ぼくを深めました。19 日には BeFM 会議室で臨時総会を開き、特別記念局 8J790Y の運用スケジュールや移動先について話し合いました。

4 月 14 日、階上岳に設置されている D-STAR レピータのメンテナンスを行い、周囲の草刈作業で汗を流しました。7 月 2 日に WIRES-X デジタルノードを D-STAR 八戸 430 の場所にアンテナおよびインターネット共用で設置しました。8 月以降に階上岳オートキャンプ場で移動運用を計画。二戸市折爪岳に夏季常設の移動用アンテナを設営、屋外でパーベキュー&懇親会などを予定しています。

事務局 JA7BLS・田端大資

日赤 7747 無線奉仕団

日頃の活動は感度交換訓練、総合防災訓練への参加をはじめ、赤十字活動で行われる救急法・炊き出し訓練や各種活動への参加、研修会などを行っています。

活動に興味がある局は、メールで事務局コールサイン@jarl.com 宛に、お住まいの地域、コールサイン、お名前と連絡先をお知らせ下さい、事務局より分団への連絡先をメール返信か電話連絡致します。 事務局 JG7SAF・工藤真己

平成27年度 JARL青森県支部収支 決算 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで) ※単位:円

平成28年度 JARL青森県支部収支 予算 (平成28年4月1日から平成29年3月31日まで) ※単位:円

青森県全市町村交信賞発行状況 (7月1日現在)

平成28年度 JARL青森県支部役員

JARL 青森県支部登録クラブ



青森県・渡島檜山両支部共催「第14回津軽海峡コンテスト」結果

(2016年 5月14日～15日実施)

Table with columns for '管内局' (In-branch stations) and '管外局' (Out-branch stations), listing call signs, names, and scores for various radio categories like 50MHz, 144MHz, and 430MHz.

※入賞局(★印)は平成28年度JARL 渡島檜山支部大会およびJARL 青森県支部大会で表彰します。

【第10回オール青森コンテスト入賞局】

(2016年7月16日～17日実施)

Table showing award-winning stations for the 10th All-Aomori Contest, categorized by '管内局' and '管外局', with call signs and scores.

※入賞局(★印)を「第44回JARL 青森県支部大会&ハムの集い」(9月18日開催)で表彰します。同点の場合、最終送信時間が早い局を上位としました。県内37局、県外142局が参加しました。



◇平成28年度 監査指導委員◇

Table listing the members of the 28th year supervision and guidance committee, including their names and call signs.

▽総務省による電波監視



監査指導委員会 ガイダンス局運用報告

Table showing monitoring results for the Lower North region (下北地区), including message counts and call signs.

期間: 平成27年7月1日～平成27年7月31日
場所: むつ市
所見: 各企業または現場ごとにアマチュア無線の周波数が設定されているようです。平日の日中はダンプ等の建設関係、夜間や早朝は漁船、休日の早朝は遊漁関係の違法局が出発しています。

Table showing monitoring results for the Aomori region (八戸地区), including message counts and call signs.

期間: 平成27年10月4日～平成27年11月30日
場所: 八戸市
所見: 呼出符号の不送出しは23件中22件。ガイダンスを無視して交信を続けた局が5件。使用区分を守らない局は10件全て停波となった。

Table showing monitoring results for the Aomori region (弘前地区), including message counts and call signs.

期間: 平成27年12月4日～平成28年1月26日
場所: 弘前市
所見: 東北総合通信局の担当者にガイダンス17の運用を連絡した際、ガイダンスしている状況のモニター申し出がありました。1月15日午後、打合せ通りガイダンスのモニターが出来たそうです。また、走っている車の移動場所もセンサー局を通じて特定が出来たそうです。

Table showing monitoring results for the Aomori region (青森地区), including message counts and call signs.

期間: 平成28年4月13日～平成28年6月4日
場所: 青森市
所見: ガイダンス局を運用した際、「前にもガイダンスを聞いたことがある」と交信していた。常習的などころがあり、不法電波が悪いという意識が無いようである。

★県内レピーター稼働状況報告★(2400MHz除く)

Table reporting the status of repeaters in Aomori Prefecture, listing locations, call signs, frequencies, and contact information.

Advertisement for illegal radio waves with the headline 'なんて電波だ!! こんな迷惑、イカんだらう!!' and '不法電波はいけません!'.